



八幡小だより 7月号

令和8年6月30日

八潮市立八幡小学校

児童390名 15学級

たくさんの『好き』

校長 小久江 桂子

子供たちが待ちに待った夏休みまで、あと一か月となりました。「夏休みにはプールへ行きます!」「お出かけします!」と弾んだ声で教えてくれる子供たち。その様子からワクワクした気持ちが伝わってきます。

さて、私は、小学生の時、ある1冊の本に出会い、胸がバクバクするほどの感動を覚えました。カナダの美しいプリンス・エドワード島を舞台にした物語、『赤毛のアン』です。

おしゃべりで想像力豊かな女の子・アンが繰り出す言葉は、どれもリズムカルで、まるで宝石のようにキラキラと輝いています。ページをめくるたびに、目の前に美しいカナダの景色が広がり、アンと一緒にワクワクしたり、涙したり…。私はこの本を通して、『読書って、なんて楽しいんだろう』という喜びを覚えてもらいました。

この素晴らしい物語を日本語に訳し、日本の私たちに届けてくれたのが、村岡花子さんという女性です。村岡さんは、『本が好き、仕事が好き、人が好き』という、愛に溢れたお人柄の方だったそうです。戦争という非常に激しく苦しい時代の中でも、『子供たちに美しい物語を届けたい。夢と希望を失わないでほしい』という一心で、翻訳を続けられたそうです。

村岡さんの『好き』という強い気持ちと、人への優しさがあったからこそ、何十年経った今でも、私たちはアンに出会うことができます。

子供たちの周りには、テレビやゲーム、インターネットなど、たくさんのエンターテインメントがあります。それらも楽しいものですが、『本を読む』ということは、自分の心の中に、自分だけの無限の景色や想像力を広げられる特別な体験だと、私は思います。私のように、1冊の本との出会いが、一生の宝物になることもあります。

学校では、子供たちがたくさんの素敵な本と出会えるよう、図書室の環境づくりや読書活動に取り組んでいます。

御家庭でも、ぜひ、読書の楽しさを話題にいただけると嬉しいです。子供たちが村岡花子さんのように、たくさんの『好き』を見つけ、心豊かな人生を歩んでいけるよう、これからも温かく見守ってまいります。

夏休み明けに、一回り大きくなった子供たちが、自分で見つけた『大好きな本』の話をたくさん聞かせてくれることを、楽しみにしています。

ペンキ塗りボランティアさんのおかげで、素敵な南門に大変身!!ぜひ、御来校の際にご覧ください☆



今年度も八幡小のホームページを活用して、随時子供たちの様子を配信しています。
ぜひ、ご覧いただければ幸いです。

←本校ホームページ用 QR コード(読み取るとページに移動します。)